



MGU Chapel Letter

—第10号 2022年4月8日—

発行：大学宗教センター



* 2022年度聖句 *

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐みは決して尽きない。」 哀歌 3章 22節



❖ 大学礼拝が始まります！

【4月中は週2回、昼休みの12時10分～30分に礼拝堂で】

4月の礼拝日程（説教者の氏名）

- ・4月18日（月） 佐々木 哲夫 （学院長）
- ・4月20日（水） 栗原 健 （宗教センター長）
- ・4月25日（月） 末光 眞希 （学長）
- ・4月27日（水） 松本 周 （一般教育部）

コロナウィルス感染予防のため、4月中の出席人数は85人までとしております。
5月から、礼拝は月・水・金の週3回になる予定です。

❖ 聖書・讃美歌販売のスケジュール

教科書販売期間の間、仙台キリスト教書店が小ホールで聖書・讃美歌を販売します。
新入生、入学時に買いそびれた在校生はこの機会にご購入下さい。



❖ 聖書のクイズ！（答えはP2下） ❖

以下の文豪のうち1人は、聖書を愛読していたことで知られています。
それはだれ？

「坊ちゃん」の夏目漱石

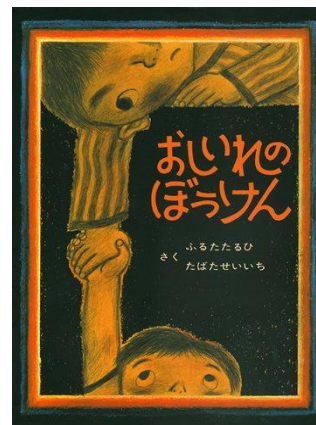
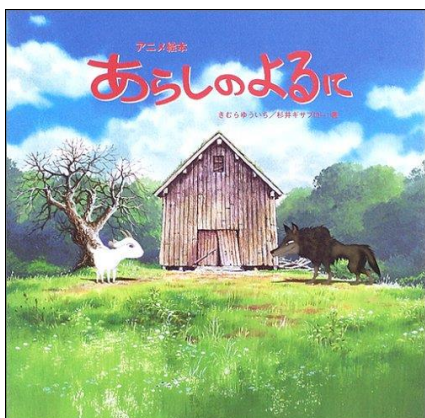
「雨ニモマケズ」の宮沢賢治

「走れメロス」の太宰治

「舞姫」の森鷗外

❖ 展示企画：出会いの季節に読みたい絵本!

礼拝堂入口ホールにおいて、展示企画「出会いの季節に読みたい絵本!」が4月1日(金)から始まりました。誰にとっても、春は新しい出会いの季節。互いに知り合うことの大切さを、絵本を見ながら味わいたいです。なつかしいアニメ絵本『あらしのよるに』、元スタジオジブリのアニメーター・二木真希子の『小さなピスケのはじめての友だち』、ディック・ブルーナの『うさこちゃんとたれみみくん』、古田足日の名作『おいしいのぼうけん』などの作品が並んでいます。5月27日(金)まで。



❖ コラム：大学で学ぶ目的は？

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」ローマの信徒への手紙 12章 15節

聖書と聞くと、面白くもない道徳が書いてある難しい本のようにイメージするかも知れませんが、決してそんなことはありません。私たちの心にストレートに語りかけて来る鋭い言葉も、沢山登場します。上に挙げた言葉もその1つですね。

皆さんは大学で学んで行きます。大学で学ぶ目的と言うと、皆さんは「専門的な勉強をして資格を取って、社会で生活して行けるようになるため」と思うかも知れません。確かにその通りです。しかし、その先にあるものも考えたいです。

私たちの社会は、人間が1人では生きて行けないことに気がつき、互いに助け合うために作られたものです(奥田知志)。大学で学ぶ知識や技術は、一見すると自分が生計を立てて行くためのツールに見えますが、本当はそれは「みんなで共に生きる」ためのもの、社会で互いに支え合うためのものなのですね。その時に心に覚えたいのが、上に挙げた言葉です。学ぶということは、今まで以上に人の喜びを支え、悲しみを受け止められる人間になるためだということ、これを心に覚えたいです。(栗)

クイズの答え

太宰治 キリスト教徒にはならなかったが、彼の作品には、聖書の言葉が138回出て来る。